

**製品名: COX7a2/3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09280**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	12kDa

**抗原情報**

遺伝子名	COX7A2/COX7A2P2 COX7A2P2; COX7A3; COX7AL2; COX7AP2; Putative cytochrome c oxidase subunit 7A3;
別名	mitochondrial; Cytochrome c oxidase subunit VIIa 3; COX7A2; COX7AL; Cytochrome c oxidase subunit 7A2, mitochondrial; Cytochrome c oxidase subunit VIIa-liver/hear
遺伝子 ID	1347.0
SwissProt ID	O60397/P14406
免疫原	抗血清はヒト COX7S/A2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

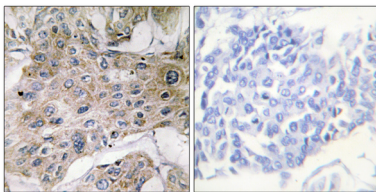
**背景**

ミトコンドリア呼吸鎖の末端成分であるシトクロムc酸化酵素は、還元されたシトクロムcから酸素への電子伝達を触媒する。この成分は、ミトコンドリア遺伝子によってコードされる3つの触媒サブユニットと、核遺伝子によってコードされる複数の構造サブユニットからなるヘテロ多量体複合体である。ミトコンドリアにコードされるサブユニットは電子伝達に機能し、核にコードされるサブユニットは複合体の調節と組み立てに機能する可能性がある。この核遺伝子はサブユニット VIIa のポリペプチド2 (肝臓アイソフォーム) をコードしており、このポリペプチドは筋肉組織と非筋肉組織の両方に存在する。サブユニット VIIa には、ポリペプチド2に加えて、筋肉組織にのみ存在するポリペプチド1 (筋肉アイソフォーム) と、すべての組織に存在する関連タンパク質が含まれている。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じる。関連する偽遺伝子が4番染色体と14番染色体上に同定されている。

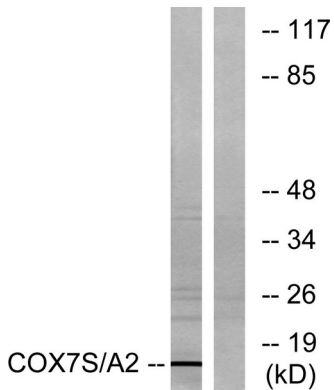
## 研究分野

-

## 画像データ



COX7S/A2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



COX7S/A2 抗体を用いたラット心臓細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。